

テーマ

地域産業を担う人材の確保・育成

建築板金技術の高度化を目指した人材育成の推進

千葉県板金工業組合

毎年30〜40人が応募する技能祭（競技会）や美術展の価値を業界関係者に認められており、組合本部（委員会等）と地域に密着した20支部の連携が良好であることで、技術上の土壌が醸成されている。

力協会などが主催する競技会に組合員が参加し、優秀な成績を収めている。

③ 組合員向け各種講習会の開催・経営指導講習会、技能・技術講習会などを開催している。

事業・活動の内容

背景と目的

建築板金業者は金属板の塑性加工能力、建築外装施工、美観・景観づくりのセンス等が複数の高度な技術が求められている。当組合では組合員への新しい板金技術習得の支援を行うため、教育・指導事業に重点を置いて組合活動を行っている。

- ① 千葉県板金大会（銅板加工作品美術展）…当組合が主催。課題による制作、展示を行う。
- ② 千葉県技能祭…千葉県職業能

当組合が主催する「千葉県板金大会（銅板加工作品美術展）」は組合の技能委員会と総務委員会が中心になって企画・運営を行っている。技能委員会が各年度の作品制作課題を決定し、作品募集を行う。実際の募集は各支部（県内20支部）が行い、出品希望者を募る。毎年約20人の応募者がある。作品の評価も技能委員会が行い、入賞者5人を決めていく。作品は「銅板加工作品美術展」において展示され、毎年120人以上の組合員等が見学しており、優秀な作品を目にすることにより組合員のモチ

ベーション向上の引き金になっている。また、美術展終了後、機関誌にも掲載し、広く組合員に広報を行っている。この美術展は平成27年度で47回目を迎えた伝統ある美術展で、千葉県、千葉県中小企業団体中央会などの後援を得て開催している。

今後は若手の育成のために若手からの応募を増やしていきたいと考えており、そのためには後継者の育成、組織的な新人採用などにより若手が入りたいと思う魅力ある建築板金業界に変化することが必要である。

成果・効果

「銅板加工作品美術展」や「技能祭」に毎年出品希望者が継続しており、組合員への波及効果が大きい。また、出品して表彰を受けることにより、参加者のモチベーションアップになり、他の組合員

の目標となっている。

組合本部が教育・指導に関する求心力を持つことや、地域に密着した各支部と本部が連携して事業推進していることが成功要因にあげられる。



▲技能祭における競技会の模様



▼板金加工作品美術展

千葉県板金工業組合

住所：〒260-0854
千葉県千葉市中央区長洲
1-33-14 本千葉ビル2階

設立：昭和42年8月

出資金：820千円

電話：043-306-2657

業種：板金工事業

組合員：160人